

第 26 回 ニッセイ財団 助成研究ワークショップ

「都市と森の共生をめざして」

主催：公益財団法人 日本生命財団 公益財団法人 ニッセイ緑の財団

共催：公立大学法人 大阪市立大学大学院理学研究科

都市と森の共生をめざす研究会

後援：環境省・農林水産省・大阪府・大阪市・交野市

1. 日 時：2012年1月7日（土）10：30～17：30

2. 場 所：大阪産業創造館（大阪府中央区本町1-4-5）

3. プログラム

10:30～10:45	開会あいさつ	ニッセイ財団	理事長	脇 英太郎
10:45～11:00	趣旨説明「大阪市立大学理学部附属植物園で、いま、なぜ、都市と森か」	大阪市立大学	講師	植松千代美
11:00～12:10	第Ⅰ部 植物園の森のCO ₂ 固定機能			
	「植物園の森におけるCO ₂ 固定能の評価」	森林総合研究所	主任研究員	小南 裕志
	「植物園の森における有機物の分解」	日本大学	助教	上村真由子
	「植物園の森における土壌からのCO ₂ 放出」	京都大学	助教	檀浦 正子
12:10～13:10	休憩・昼食			
13:10～14:40	第Ⅱ部 植物園の動物相			
	「動物にとっての植物園」	龍谷大学	講師	谷垣 岳人
	「植物園のクモ相」	追手門学院大学	教授	西川 喜朗
	「キタキョウ (<i>Eurema mandaria</i>) の越冬生態の調査」	NPO 法人 やまと自然と虫の会	理事	伊藤ふくお
	「野鳥と植物園（その利用状況）」	交野野鳥の会	顧問	平 研
14:40～14:50	休憩			
14:50～16:00	第Ⅲ部 植物園の草本植物・シダ植物とその保全への役割			
	「植物園の草本植物とその特徴」	大阪教育大学	准教授	岡崎 純子
	「植物園に野生するシダ植物と種子植物の種多様性調査と評価」	岡山大学	助教	山下 純
	「植物園が在来タンポポの保全に果たす役割」	大阪市立大学	教授	伊東 明
16:00～16:10	休憩			
16:10～17:30	総合討論 「都市と森の共生をめざして」			
	コーディネーター	大阪市立大学		植松千代美
	コメンテーター	大阪府交野市地域社会部社会総務室 室長		大湾喜久男
		国際熱帯農業研究センター 名誉研究員		河野 和男
17:30	閉会あいさつ	大阪市立大学	副学長	宮野 道雄